

報告書名	平成 19(2007)年度 高温ガス炉プラントに関する研究報告書
発行年月	平成 20(2008)年 3 月
概要	高温ガス炉の実用化検討に資する目的で、以下を実施した。 (1) 技術課題の検討： ①水素市場に関して、「水素の利用分野とその分野毎の利用実態の現状と今後の展開」および「水素需要の見通し」、②高温ガス炉熱利用に関して、「熱利用系として利用可能なシステム、実用化への課題」について、ワーキンググループを設置し、検討した。 (2) 有識者による講演・意見交換： 高温ガス炉の位置付けや活用に関し幅広い視点を持つ有識者 4 名による講演と意見交換を行ない、高温ガス炉の実用化や国際展開に関する有益な意見を聴取した。 (3) 開発動向調査： ①国際会議での情報収集、参加者との情報交換、②公開情報に基づき、高温ガス炉に関する国内外の最新の開発動向調査を実施した。
目次	はじめに 関係者名簿 I. 今年度の活動実績の概要 II. 実用化に向けた開発計画の検討 1. まえがき 2. 技術・経済性の検討 (1) 内外動向調査 ① 講演 ② 内外動向ワーキンググループ (2) 水素・熱利用検討 III. PA/PR 活動報告 IV. 出張報告 1. 「IAEA 原子力非電力利用国際会議」出張報告 2. 「原子力プラント進展国際会議(ICAPP-2007)」出張報告 3. 「原燃サイクルシステム国際会議(GLOBAL-2007)」出張報告 V. 今後の活動